

# SHIRO TORI 通信

Vo.26

2020 winter

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

「作り手の思いを  
お客様につなぎたい」

「(有)入口蔦屋」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム





# 建築 NEWS

新国立競技場の完成を祝う！！

2020年東京五輪・パラリンピックのメインスタジアムとなる新国立競技場が昨年1月30日に完成しました。そして、12月21日にオープニングイベントが開催され、お披露目されました。スポーツでは今年元日のサッカー天皇杯全日本選手権の決勝が最初の大会となりました。



いわゆる「すり鉢」状に設計された客席の収容人数は約6万人。東京五輪では開閉会式に加えて陸上競技、サッカーの会場となる予定となっています。また、東京パラリンピックでも開閉会式、陸上競技などで使用される予定です。

地上5階、地下2階建のスタジアムの高さは景観に配慮して47mに抑えています。木と緑にあふれた「杜のスタジアム」のコンセプトにふさわしく、屋根や軒、庇に使用された木のやさしさとコンコースや競技場の周辺に施された植栽が神宮外苑の景観に溶け込むデザインになっています。



## 城取設計ニュース

### 2020年を迎えて

新年明けましておめでとうございませう！（原稿を書いているのは1月です）

昨年もお陰様で多くの建物の設計させていただきました。一昔前までは比較的公共事業中心の建物を設計する機会が多かった弊社でしたが、近年は民間企業、医療法人、福祉法人などからの依頼が増え、病院・産婦人科・社屋・工場・店舗など様

企業様で創業50年以上、中には今年創業100年を迎える企業様もありません。そんな歴史ある企業様の更なる発展のお手伝いができるこの仕事の重みと誇りを大切に、弊社も創業58年目となりますが更なる成長を求め2020年も精進してまいりたいと考えております。

々な業種の方々とのご縁をいただいております。また現在設計を進めています企業様の店舗工場・社屋・テナントビルなどは、どこも長年地元を根をはって販売を行っている

## 謹賀新年 2020年



城取建築設計事務所

おススメ

## この一冊

「町の未来をこの手でつくる」

猪谷千香（幻冬舎）



駅前空き地が広場と図書館に！？ 補助金に頼らない——公民連携によるまちづくりの全貌

岩手県紫波町を全国区で有名にした「オカールプロジェクト」。2009年から本格的に取り組まれた地方再生プロジェクトです。本書はそのプロジェクト誕生に関わった人々の紹介とその道のりを綴った一冊となっています。

専用コートや図書館など他と差別化を図りつつ、徹底的に収益化にもこだわる過程が興味深く描かれています。

かつて高齢化・過疎化・財政難に直面していた岩手県紫波町は、今や県内第2位の地価上昇率を記録し、駅前エリアは年間90万人以上が訪れる観光地となっています。従来の行政主導でも、大手企業が頼る開発でもない、行政と民間が連携して進めるまちづくりとはどのように実現していったのでしょうか。日本初のバレーボール

プロジェクトが完成し数年が経ち、町として成熟されつつあるオカールを機会があれば目にしてみたいとなります。



猪谷千香 著  
定価：本体1,400円＋税  
発売日：2016年9月26日  
形態：単行本（222ページ）

## 建築探訪

### 《洪温泉》金具屋

長野県下高井郡山ノ内町にある洪温泉の、趣のある温泉街の中でもひと際目をひくのが、約260年の歴史を持つ老舗旅館「金具屋」。「金具屋」の屋号は、宿屋になる以前に「鍛冶屋」を営んでいたことから名付けられました。ジブリ映画「千と千尋の神隠し」の湯宿のモデルとも噂される宿泊棟「齊月楼」は、国の登録有形文化財に認定されています。しかも、現役客室として稼働中！「金具屋」は、登録有形文化財の部屋に泊まる事ができる貴重な宿なんです。

建築に携った宮大工たちは「観光旅館」という縛りのない建物ということで、館内のあるところ匠の遊び心を散りばめました。当時、界限ではまだ例のなかった木造4階建ての建物は、人々を大変驚かせたといえます。金具屋の魅力は、ぜひ実際に目で見て宿泊して感じてほしいです。



特集

# 施工事例

創業57年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え  
過去から未来へつなぐ施設を作ります。

## 施工事例

大型農機具  
専門の  
整備作業環境を  
重視した建物

### 建築概要

- 名称：ヤンマーアグリジャパン(株)
- 野辺山支店整備工場
- 発注者：ヤンマーアグリジャパン(株)
- 所在地：長野県南牧村海ノ口野辺山
- 構造・階数：S造・平屋
- 延床面積：734.28㎡(油庫含)

食を支える農業。その中の野菜作りにおいて、ここ野辺山は特に高原野菜で有名です。そして、この地に今回紹介させて頂く農機具専門の整備工場が竣工しました。

整備工場の設計・施工にあたっては、大手の農機具メーカーであるお施主様からはもちろんのこと、社員の皆様、そして、地域住民の方々からのいくつ

かの指定事項を遵守し、安全面・環境面に十分配慮した環境を提供出来るよう心掛けました。

建物の外観については、南牧村の条例にお施主様からの要望を合わせて、箱型の建物とし、色調はグレーを基調とし企業ロゴマークの赤色をアクセントとする、シンプルな外観としました。内装については、事務室廻りを床材以

外白を基調とし、すっきりとしたデザインとしました。また、寒冷地対策については、約マイナス20度にもなる野辺山地域は想像以上の事も多く、支店の方々や地元の様子に分かる方々の意見を基に、対応させて頂きました。

新鮮な高原野菜はまさに旬が売り。そんな野菜を手頃に、より多くの人々に届けられるようにと農家の方々の使う農機具も多種多様・大型化となり、それに対応できる整備工場の建設が急務となったようです。そんな中で、弊社が指名を頂きました。これも何かの縁、そして、そこから生まれる人と人との新たな繋がり、大切な信頼関係、建物を造り上げる情熱、お客様への様々な想いなど、打合せから竣工引渡しまでの間ひしひしと伝わってきました。大変な面もありましたが、楽しく精一杯業務に関わらせて頂きました。

最後に、工期内に無事引渡し出来るよう努力して頂いた施工業者の方々と、数ある設計事務所・施工業者の中から弊社をご指名頂き、貴重な経験の機会を与えて下さったお施主様に、心より感謝申し上げます。



外観全景



事務室



整備工場



カフェタイズ  
伊那市西町 5863-1  
www.cafeties.com  
営業時間  
月～金 11:00～18:00  
土・日曜 10:00～18:00

## これパン 《 予約販売開始 》

テレビ信州「ゆうがたGet」で放映された影響もあり、連日多くのお客様にご来店いただいております。お客様からの要望にもありました予約販売が可能となりました。1本から予約可能となっておりますのでご利用いただければと思いますが、繋がりにくい時間帯もあります。夕方頃おかけになると繋がりがやすいのでご利用ください！  
TEL: 0265-97-1376 (配達不可)

数量限定の大人気食パンを  
確実に買える方法です！

### 予約での お取り置き はじめました

来店日時 予約本数  
ブレイク/レース  
をご確認の上、  
ご連絡くださいませ。  
※店舗在庫に限りがあります  
※予約は1日単位・1人最大1本までとなります

ご予約はこちら  
高級食パン専門店 これぞパンです  
**0265-97-1376**

※ブレイク、レースは数に限りがございます  
※17時前までご予約ください  
※天候による場合は別途ご連絡いたします

# 実録 地元のチカラ この街の企業

文久二年（一八六二年）創業の有限会社入口蔦屋様はガソリンスタンド、ガス、お米の取り扱いを行っております。中でもお米に関しては、社屋の建て替え時に思い切った方向転換を行いました。それまでは、精米を仕入れて販売するという形態でしたが、もつと特徴を出した販売を行っていき



たいという思いから、生産者さんから直接玄米を仕入れ、それを精米して販売をしていくという方法にしました。お米に対して同じ思いを共有していける生産者さんとお付き合いをすることにこだわりを持っています。幸いにも同年代の生産者さんと巡り合うことができ、ただ原料としての玄米を仕入れるだけではなく、一年を通じた「米作り」に触れることができました。春は、三月ころ土作りから作業は始まります。種もみを準備し、田圃に水を張り、苗を育てます。田植えの後も畔の草刈りを何回も行い、水の管理も毎日行い、収穫の時期を迎えます。収穫中も天気を見ながら乾燥作業を行い、最高の状態で玄米に仕上げます。単に田植えをして稲刈りをするのが米

## 「作り手の思いを お客様につなぎたい」

(有) 入口蔦屋  
(伊那市)

作りではなく、出会った農家さんはまさに「手間」を惜しまず作り上げています。その時の感動や伝わってきた思いをお米と一緒にお客様に届けたと思うようになったそうです。幸いにも共感していただけるお客様も増え、最近では生産者さんに実際にお客さまのお店で食べて頂いたりして、「コミュニケーションも図れるようになってきている」といいます。今後は、産地にお客様を呼んで実際の栽培圃場を見て頂いたり、作業も体験して頂き、一緒に「食」を作り上げていきたいという夢を語っていただきました。



米工房入口蔦屋の横顔  
伊藤かおり氏



有限会社 入口蔦屋  
長野県伊那市坂下 3364  
TEL: 0265-72-2477

## “お米”がつなぐ縁

伊藤さんが本格的にお米に携わるようになって、5年が経ちました。お米に関しては全くの素人だったという伊藤さんですが、生産者の皆さんや、時にはお客様から助けられ、次の目標を考えられるところまで来ました。感謝の気持ちを忘れずにこれからも縁をつないでいきたいとおっしゃっています。

## 営業コラム



年が変わっても冷めないラグビーブーム。そんな中、新国立競技場で「第56回・全国大学ラグビー選手権大会」の決勝戦が行われ、チケットをゲット出来ましたので息子と観戦してきました。当日は、「明治大学対早稲田大学」という伝統の一戦であり試合開始前からすごい熱気を感じながらスタジアムまで歩いていきました。遠くから見てもスケールがあり、近づいて見上げると国産木材をふんだんに使用して、木のぬくもりが感じられるスタジアムで、スタジアム外周の木製の軒庇（のきびさし）が印象的でした。東京オリンピックで訪れるであろう外国人にとっては新鮮で「日本らしい」と評価されないかもしれません。座席からの見え方は、傾斜がついているため4階席からであって

も意外とフィールドを近く感じられ、ラグビー観戦していてもさほど遠くには感じず、臨場感のある観戦をすることができました。今年予定されています、東京オリンピックが今から楽しみでなりません。



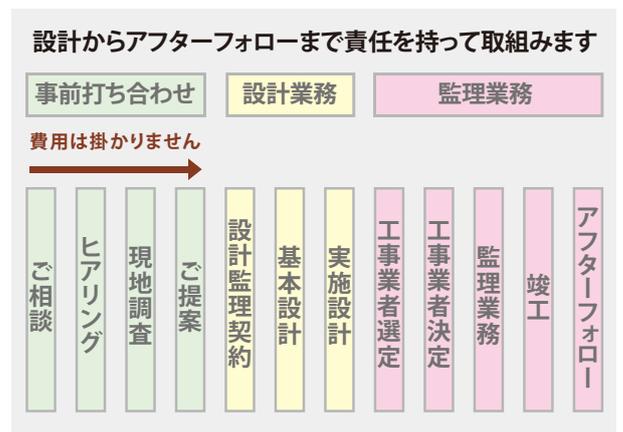
時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。  
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、  
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



## 城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。



# 株式会社 城取建築設計事務所

- 創立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資本金：1000万円
- 登録：(伊那) L第2Y051号
- 取引銀行：八十二銀行 伊那支店  
アルプス中央信用金庫 本店
- 所属団体：(社) 長野県建築士事務所協会  
(社) 長野県建築士会
- 事業内容
  - ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
  - ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
  - ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
  - ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
  - ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
  - ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■ 本社  
 長野県伊那市西町 5863-1  
 TEL：0265-72-7271  
 FAX：0265-72-7270